



フルオーデションで選ばれた16名の出演者が  
80余役を演じ分け、三好十郎の超大作に挑む！



陽月 華

伊達 暁

青山 勝

浅野 令子



演出 上村聡史



芸術監督 小川絵梨子

3月7日(日) 10:00～ 一般発売 新国立劇場ボックスオフィス 03-5352-9999

写真・資料のご請求、取材のお問い合わせ

新国立劇場 制作部演劇 広報担当 関

TEL: 03-5352-5738 FAX: 03-5352-5737

〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1



新国立劇場

<http://www.nntt.jac.go.jp>

## 作品について

日本の多くの人々に愛され続ける名作をお届けする「人を思うちから」。そのシリーズの最初にお贈りするの、三好十郎による大作『斬られの仙太』です。小川絵梨子芸術監督がその就任とともに打ち出した支柱の一つ、すべての出演者をオーディションで決定するフルオーディション企画の第三弾でもあります。演出を担うのは、『オレスティア』での壮大かつ大胆な演出の記憶も新しい演出家・上村聡史。19年11月より応募を開始、20年1月から2月にかけてオーディションを開催、総勢80にも上る役を16名の出演者で演じ分けます。

### 全キャスト 16名



青山 勝



浅野 令子



今國 雅彦



内田 健介



木下 政治



久保 貫太郎



小泉 将臣



小林 大介



佐藤 祐基



瀬口 寛之



伊達 暁



中山 義紘



原 愛絵



原川 浩明



陽月 華



山森 大輔

## あらすじ

時は江戸末期から明治にかけて。常陸の国の水呑み百姓・仙太郎はあまりの凶作に年貢の減免と取立の猶予をお上に訴えるが、この地の有力者・北条の喜平はそれを許さず、彼を村から追い出してしまう。復讐を誓った仙太は江戸で剣法を学び、博徒となって故郷へと戻る道すがら、ひょんなことからある茶屋で頼まれごとをされ、それをきっかけに水戸天狗党絡みの騒動へと巻き込まれていく。仙太の剣の腕と男気を目の当たりにした党からは是非同士にと勧誘を受けた仙太は、党の斬り込み隊長として次第にその名を高めて行く……。

## 演出 上村聡史からのメッセージ

小川芸術監督の第一シーズンから始まったフルオーディション企画は、役を自らが選び創作現場へと赴いていく、という表現者の根幹をととても大切にされている企画で、大変魅力的に感じていました。その企画の第3弾目のお話をいただき、私自身も非常に意欲が湧いています。題材は任せていただけるとのことだったので、敬愛してやまない三好十郎氏の、昭和九年(1934年)、氏が32歳の時に発表・初演された『斬られの仙太』を選びました。

時は江戸末期から明治にかけて、百姓一揆や「ええじゃないか」をはじめとする時代の揺れ動きを、“天狗党の乱”を軸に展開していきます。“変革”に立ち向かう熱量、その熱量から生じる善と悪、そして土と共に生きる生活の意味を丁寧に表現することで、今の時代にも通ずる“育む”ことによって日々を生きる市井の生活感と、官僚的価値観に基づき“差別化”することで社会を支配しようとする政治性との間に生ずる葛藤を、今一度、演劇の醍醐味として伝えることができればと思います。

なかなか上演されることの少ない本作は、百姓、町民、役人、武士、博徒、芸者と約80近くの人物が登場しますが、今回は出演者たちが、「物語」を仕立てていくという演出プランに基づき、出演者全員が黒子を兼ねた座組形式の演出で上演したいと思います。加えて、殺陣シーンも多々あり、方言もあり、何よりも膨大な台詞量といった重量級の作品になるかと思いますが、三好十郎が紡いだ言葉と真摯に向き合うこと、役を演じきることで生ずる醍醐味とで、演劇が大衆に語りかける圧倒的な力を、こんな時代だからこそ、創造していきたいと思います。

## スタッフプロフィール

作：三好十郎 (MIYOSHI Juro)

1902年～1958年。吉江喬松に師事し、早稲田大学在学中に詩人としてデビュー。28年、高見順らと左翼芸術同盟を結成。同年、処女戯曲『首を切るのは誰だ』を発表。全日本無産者芸術連盟(ナップ)に参加、『疵だらけのお秋』のほか小説・詩を書き、31年、処女戯曲集『炭塵』を出版。以降、プロレタリア劇作家として知られたが、社会的リアリズムと呼ぶ創作方法により、政治主義・公式主義に不満を抱き組織から離れる。生涯で57編の戯曲とラジオドラマの脚本を残し、『炎の人』で52年読売文学賞戯曲賞を受賞。そのほかの代表作に『浮標』『斬られの仙太』『おりき』『廃虚』『獅子』『その人を知らず』『胎内』『崖』『冒した者』など。58年12月16日、東京・赤堤の自宅書斎で逝去。享年56歳。戯曲体で81枚、小説体で130枚書かれた『神という殺人者』が絶筆未完の遺作となったほか、『悪人を求む』が遺稿として同年12月19日の読売演劇で発表される。

演出：上村聡史 (KAMIMURA Satoshi)

2001年文学座附属演劇研究所入所。09年より文化庁新進芸術家海外留学制度において1年間イギリス・ドイツに留学。18年に文学座を退座。15年に新国立劇場『アルトナの幽閉者』、文学座『信じる機械』、世田谷パブリックシアター『炎 アンサンディ』の演出で第17回千田是也賞、同年、同じく『炎 アンサンディ』、風姿花伝プロデュース『ボビー・フィッシャーはパサデナに住んでいる』の演出で第22回読売演劇大賞最優秀演出家賞を受賞。近年の主な演出作品は、『ミセス・クライン』『正しいオトナたち』『終夜』『ブラッケン・ムーア～荒地の亡霊～』『大人のけんかが終わるまで』『岸 リトラル』『イヌの仇討あるいは吉良の決断』『冒した者』など。新国立劇場では、『オレスティア』『城塞』『アルトナの幽閉者』を演出。

## 出演者プロフィール

青山 勝 (AOYAMA Masaru)

利根の甚伍左 ほか 3 役および黒子

1988 年劇団ホンキートンクシアターに参加。劇団解散後、中島淳彦を座付き作家に、座長として劇団道学先生を旗揚げ。ほぼ全ての劇団公演の演出、出演を務めている。テレビ、映画に出演するほか、ラジオドラマ、CM ナレーション、吹替など声の仕事も多数。

最近の主な舞台出演作品に『梶山太郎氏の憂鬱と微笑』『怪談牡丹灯籠』『銀杯』『奇跡の人』『二分間の冒険』など。新国立劇場には初登場となる。

浅野令子 (ASANO Reiko)

お妙 ほか 2 役および黒子

新国立劇場演劇研修所第 1 期修了。数多くの舞台や CM で活躍するほか、近年は「鼻メガネさん」として、子供たちの為のパフォーマンスを行う。

主な舞台出演作に『四谷怪談』『暴走ジュリエット・迷走クレオパトラ』『お暇をこじらせて』『ピーターパン』『国盗人』『闇に咲く花』など。新国立劇場では、こつこつプロジェクト『あーぶくたった、にいたった』に参加のほか、『マニラ瑞穂記』、リーディング公演『アラビアの夜』に出演。

伊達 暁 (DATE Satoru)

真壁村の仙太郎 および黒子

1996 年、演劇プロデュースユニット「阿佐ヶ谷スパイダース」の旗揚げに参加。以降中心メンバーとして活躍。劇団公演以外にも多数の舞台に客演するほか、近年は TV ドラマ、映画、CM ナレーションなど、映像にも活動の場を広げている。

近年の主な舞台出演作に『両国花錦闘士』『銀河鉄道の夜 2020』『人間合格』『桜姫～燃焦旋律隊殺於焼跡』『セールスマンの死』『D51-651』『髑髏城の七人～season 月<下弦の月>』『三億円事件』『蛙昇天』など。新国立劇場では『骨と十字架』に出演。

陽月 華 (HIZUKI Hana)

お蔦 ほか 3 役および黒子

2000 年、宝塚歌劇団に入団。星組を経て、07 年宙組トップ娘役に就任。09 年の退団後は、舞台のみならず映像にも進出、数々のテレビドラマ、映画、CM に出演。『警視庁・捜査一課長』にレギュラー出演中。

近年の主な舞台出演作に『灰色のカナリア』『みえない雲』『フランケンシュタイン』など。新国立劇場には初登場となる。

## 公演概要

【タイトル】 斬られの仙太

【スタッフ】

作 三好十郎  
演出 上村聡史

美術 乗峯雅寛  
照明 沢田祐二  
音楽 国広和毅  
音響 加藤 温  
衣裳 宮本宣子  
ヘアメイク 鎌田直樹  
殺陣 渥美 博  
演出助手 谷こころ  
舞台監督 大垣敏朗

芸術監督 小川絵梨子  
主催 新国立劇場

【キャスト】

青山 勝 浅野令子 今國雅彦 内田健介 木下政治 久保貫太郎 小泉将臣 小林大介  
佐藤祐基 瀬口寛之 伊達 暁 中山義紘 原 愛絵 原川浩明 陽月 華 山森大輔

【会場】 新国立劇場 小劇場 (京王新線 新宿駅より1駅、「初台駅」中央口直結)

【公演日程】 2021年4月6日(火)～25日(日)

【料金(税込)】 A席7,700円 B席3,300円

【一般発売】 3月7日(日) 10:00～

※通常の座席配置での販売を予定しております。

【チケット申し込み・お問い合わせ】

新国立劇場ボックスオフィス TEL: 03-5352-9999 (10:00～18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

本公演は新型コロナウイルス感染予防、拡散防止対策をとって上演いたします。 詳細: [https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23\\_017576.html](https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html)

\* **Z席1,650円** Z席(各日10席)は、公演当日朝10:00から、新国立劇場Webボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。※先着販売後、残席がある場合は、公演当日の開演2時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。※電話予約不可。\* **当日学生割引**  
公演当日残席がある場合、Z席を除く全ての席種について5.0%割引にて販売。要学生証。電話予約不可。\*新国立劇場では、高齢者割引(65歳以上5%)、障害者割引(20%)、学生割引(5%)、ジュニア割引(中学生以下20%)など各種の割引サービスをご用意しています。